



教育センター・育成センター所報

GALILEI



2014.8.10
市民フラザ

CONTENTS

○今月の巻頭言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

★徒然なる思考のままに

教育センター運営委員

柏崎市立西山中学校長 岸 勝巳

○教育センターだより

★アクセス（教育研究班）・・・・・・・・・・・・・・ P 2

★プロジェクト K（科学技術教育センター）・・・・・・ P 6

★心の窓（教育相談班）・・・・・・・・・・・・・・ P 10

○青少年育成センター通信・・・・・・・・・・・・・・ P 11

○9月の行事予定表・・・・・・・・・・・・・・ P 13

○所員随想「つれづれ」・・・・・・・・・・・・・・ P 13

★心もつられてハイブリッド

教育研究班情報教育主事 田村 実

平成26年8月号

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター

徒然なる思考のままに

教育センター運営委員
柏崎市立西山中学校
校長 岸 勝巳



8月の教育センターの研修日程を見ると本当に充実している。半日あるは一日研修がひっきりなしである。私も、いくつか自主参加させていただいた。自身には大変有意義だったし、楽しい研修であった。しかし、自分を含めた参加者と講師先生を見ていて、学校と違うという違和感がある。参加者から質問があるシーンでそれを感じたのである。

うん！ 学校という場は特異な場所なのか？

「知らない人が、知ってる人に尋ねる」・・・これが世間、社会の営みの大部分である。知らない人と知っている人での合意をはかることがコミュニケーションの基礎である。

しかし、学校では、「知っている人が、知らない人に尋ねる（問う）」が多数。そもそもそこに違和感があるのである。

上司が見てないと部下は学ばないのか？というとなさでない、分からなかったら仲間・先輩・上司に聴き対応するのが社会である。誰かが見ていなくとも学ぶのが社会である。でも、先生が見ていないと子どもは勉強しないのか？との疑問も浮かぶ。

学校といえば、同窓会で、教え子に会うと、先生によくシゴカレたなって言われる。それが今の自分を作っているかのように言ってくれる。私自身も、自分自身はかつてシゴカレて向上したという経験がある。たいていの人は、「あのとき、きつかったけど、あのおかげで今の自分がある」と思い当たるだろう。

だから「たとえ本人が嫌がっても、どうしても教えなければならないことがある」ということを否定できる人は少ないんだと思う。できない奴を向上させようとか、があつて、それでシゴクと思うのである。イジメの根底には、この感情があるのではないかと疑問も頭に浮かぶ。そうすると、シゴク授業をしているうちは、イジメの根本を絶やすことにならないのではないかととも思うのである。答えがでないのである。

もう一つ、新潟県の最重要課題の一つは、学力向上である。本来、学校、教員の本務は教科教育である。それが、最重要課題ということ自体がおかしな話ではないか。

しかし、これが時代の変化なのか。昔からの指導方法は通じないということの結果がでていうことに他ならないと考えるべきなのか。

我慢して知識を詰め込まれることに利益を感じない世間（社会）になった。そして、学校も世間（社会）に近づいているということととらえることができるのではないか。

だから、「知らない人が知っている人に尋ねる」授業を創造することで解決するのではないか。知ってる人が、知らない人に尋ねること自体・・・人間関係では、嫌らしさを感じる。知ってるくせに！！ではなく、ねえ、教えてよという関係が成立する授業づくりを求めたい。今のところは、これが自分の結論らしきものだ。

■研修講座より <夏季文化体験講座特集>

私を知ってほしいのではなく、私が愛した日本をみなさんに知ってほしい…

◆8/1（金）ドナルド・キーン・センター柏崎の魅力～キーン氏に届いた 三島由紀夫からの書簡～

この講座は、昨年開館した文化的価値の高い（財）ドナルド・キーン・センター柏崎を会場に、教職員と市民が一緒に学ぶ講座で、午後の「市内の二つの美術関連施設めぐり」につながる内容で構成しました。

第1部では、まず、キーン先生が若き日に源氏物語を古本屋で見付けたときの感動や大戦中の日本人捕虜への慈悲の心、大震災被災者に寄り添う気持ちなど、日本との関係がわかる9つエピソードを視聴しました。その後、グループでこの感想を交流、全体で共有しました。同じ映像を見ている中、異なる印象を交換し合うことでキーン氏への理解を深めました。

第2部では、石黒学芸員から、キーン氏と親交の深かった三島由紀夫氏に焦点を当てた、97通の書簡を解説していただきました。秋に自決する三島は、その年の夏、伊豆にキーン氏を招き、穏やかな時間を過ごします。その時の三島の心中を後になって察するキーン氏の内面を鮮やかに再現していただきました。

第3部では、当センタースタッフの西澤翔氏（元高校英語教師）よりキーン氏訳「奥の細道」の「古池や 蛙飛び込む 水の音」を取り上げながら「古池」を old pond とせず ancient pond とすることで、芭蕉が伝えたかった「わびさびの世界」をより鮮明に伝えることになっていると話されました。

参加された方の感想として「3部とも感動的でした。全体を通じてキーン先生は『自分を知ってほしいのではなく、自分が愛した日本をもっと私達に知ってほしい』とされていると感じました」「柏崎にある施設の内容にもっと触れて『学びの場』として位置付けていきたい」という内容が多くありました。



グループで感想を交流し合う参加者



原文と英訳文とを対比する西澤講師

立ち止まって感じることで、眠っていた力が目を覚ます…

◆8/1（金）二つの美術関連施設 ～ギャラリー三余堂・木村茶道美術館～

この講座は、柏崎市にある美術関連施設「ギャラリー三余堂」と「木村茶道美術館」を巡る講座で、上記講座に続くシリーズでした。「ギャラリー三余堂」では、代表の相澤陽一様よりギャラリー開設の主旨や名前の由来の説明などがありました。

そこでは、藍澤南条氏の漢学塾「三余堂（夜、冬、雨の際に学ぶ）」にあやかり「余暇、知恵、財のいずれかのゆとりを柏崎の文化発展のために」という主旨で賛同者を集め資金に充てた旨のお話がありました。その後、お気に入りの一枚を選び、印象を述べ合い共有しました。

参加された方の感想として「素人の私でも立ち止まってじっくり見ることで、普段眠っている力が目を覚ましそうな気がしました」等がありました。多くの方から足を運んでいただきたい施設です。この後、一行で木村茶道美術館へ向かい、夏の午後、空間全体で季節を感じる研修は終了しました。

感想の中に「忙しい毎日なので単純に考えればこのような文化に触れる時間も惜しむのが常ですが、だからこそ、文化施設に足を運び、心を豊かに…」という記述がありました。



グループで感想を交流し合う参加者

子どもにとっては今住んでいるところが「ふるさと」であり「学びの舞台」

◆8/5（火）文化財巡り～歴史と文化のまち北条～ 講師：元ふるさと人物館長 桑山 省吾 様

この講座は、元ふるさと人物館長 桑山 省吾 様を講師にお招きしての、北条地区の伝統と文化に触れる現地研修会でした。研修は、まず、北条中学校を会場に桑山先生のお話を聞き、北条地区の歴史と伝統についての概略を聞き、これから訪れる見学箇所への興味関心を高めていきました。以下、主な訪問先と概要は以下の通りです。

○藍澤南条氏の漢学塾跡

西に米山を望み、濃い緑に包まれた趣豊かな地にあります。かつては大きな母屋を中心に広大な屋敷だったことが推察され、現在の寂しさと対比がかえって印象を強くしました。

○俳人 五十嵐牛詰（ぎゅうてつ）の碑

十日市という地名の場所にある「野風ヶ丘」にある句碑です。昭和に建立された「定めなき 山の月日や 散る桜」の句碑が見事でした。周囲に牛詰をお慕いする5つの句碑ありました。

○一遍上人絵巻物のある専称寺（写真）

一遍上人（1239～1289）が書いた上人絵詞伝。レプリカではありましたが、10mを越える長さで、精密な絵柄に圧倒されました。

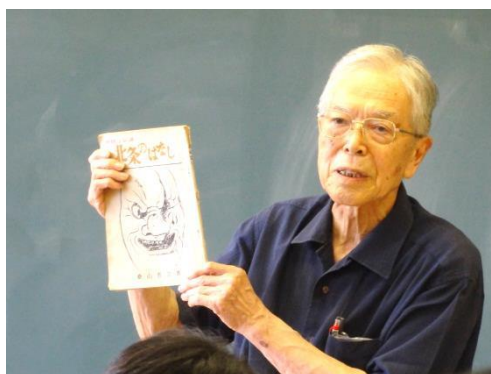
○生身のまま仏となった秀快上人にかかわる真珠院

秀快上人が62歳の安永5年3月21日早朝、慈悲の鐘を鳴らし、裏山の石室に入定されたお姿がよみがえるようでした。

○米山検校御礼塔

幼くして目が不自由になった検校は江戸に上り鍼道に入りました。晩年、飢饉にあえぐ窮民救済のために力を尽くした人物の碑です。

参加された方の感想として「子どもにとっては今住んでいるところがふるさとであり学びの舞台。私達ももっと地域を知る必要がある」「『元就のルーツ』『三余の教え』『一遍上人の書いた貴重な絵巻物』『生身のまま仏となった秀快上人』『樹齢1000年の大杉』などたくさんの宝があり地域の誇りだと感じました。自分の学校周辺でも探してみたいと思います」等、この研修をきっかけに「郷土に愛着と誇りをもつ子どもの育成」の重要性を感じる研修だったことがうかがえます。



講師の桑山省吾様



絵巻物（レプリカ）に見入る参加者

英語によるコミュニケーションってとにかく楽しいだね…

◆8/20（水）教師のための英会話教室 講師：市内ALT 学校教育課 橋立 英基 指導主事

この講座は、学校教育課橋立英基指導主事の担当で、講師に市内小中学校勤務のALTの方々をお招きして行いました。参加者自らが英語によるコミュニケーションを楽しむことと授業の活動のヒントを得ることを目的に進めました。

前半は自己紹介活動があり、そこでは my name is～で始まる会話をペアで行い、その後、隣の人を紹介していきました。さらにイス取りゲームをしながら、中央の鬼役に英語で質問をしていき、質問をした人から座っていくアクティブな活動もありました。終盤は小中に分かれ、授業で実際に使える言語活動について具体的にALTから紹介があり、どう使うかについての意見交換を行いました。

担当の橋立指導主事は「英語によるコミュニケーションを楽しみながら学んでいくことの意味をみんなで体験的に実感することが出来た、有意義な講座でした。」と総括しています



講師のALT

資料を登録しました

◆ 柏崎教育情報支援システム

夏季休業期間中の ICT 活用関連講座のテキストを演習用の例題とともに登録しました。復習や、興味はあったけれど業務の都合で参加できなかった講座などの自習用にご活用ください。また、8/6 の ICT 活用ワークショップの配布資料は、校内研修でも利用しやすいように A3 両面印刷(短辺綴じ)で二つ折りにすれば完成するように構成していますので、ご活用ください



実施日	講座名／資料名
7/24	PowerPoint 入門 PowerPoint2010 入門.pdf (第 3 版) PowerPoint 入門サンプル.pptx (演習用例題)
7/24	PowerPoint 活用1 PowerPoint2010 活用 1 .pdf (第 3 版) アニメーション設定練習用.pptx (演習用例題)
7/25	Excel 入門 Excel2010 入門.pdf (第 3 版) Excel 入門例題.xlsx (演習用例題)
7/25	Excel 活用1 Excel2010 活用 1 .pdf (第 3 版) Excel 活用 1 例題.xlsx (演習用例題)
7/28	Excel 活用2 Excel2010 活用 2 .pdf (第 3 版) Excel 活用 2 例題.xlsx (演習用例題) Excel 活用 2 串刺し計算例題.xlsx (演習用例題)
7/28	Excel 活用3 Excel2010 活用 3 .pdf (第 3 版) Excel 活用 3 例題.xlsx (演習用例題)
7/29	画像編集入門 画像編集入門.pdf (第 3 版)、画像編集基礎.pdf (第 5 版) 出力サイズ別必要画素数.pdf
7/30	Word 入門 Word2010 入門.pdf (第 3 版) Word 入門演習用例題.docx (演習用例題)
7/30	Word 活用1 Word2010 活用 1 .pdf (第 3 版) Word 活用 1 演習用例題.docx (演習用例題)
8/1	Word 活用2 Word2010 活用 2 .pdf (第 3 版) Word 活用 2 演習用例題.docx (演習用例題)
8/1	Word 活用3 Word2010 活用 3 .pdf (第 3 版) 差し込み文書例.docx (演習用例題) 受講者名簿.xlsx (演習用データ)、住所録.xlsx (演習用データ)
8/6	ICT 活用ワークショップ ICT 活用ワークショップ会場案内.pdf 各ゾーンの配布資料----- Windows8 の基本操作(起動と終了).pdf Windows8 の基本操作(その他の操作).pdf Windows8 ストアの利用方法.pdf タブレットの無線投影_WiDi 利用.pdf

実施日	講座名／資料名
	タブレット PC におけるカメラと画像の取り扱い_8.pdf (Windows8) タブレット PC におけるカメラと画像の取り扱い_81.pdf (Windows8.1) ジャストスマイルの活用.pdf 140804 エデュモール取説.pdf プロジェクターの電子黒板機能の活用.pdf プロジェクターの無線オプションを使用する.pdf プロジェクターをネットワーク経由で使用する.pdf 実物投影機やデジタルカメラの活用.pdf AppleTV による iOS 端末の無線投影.pdf iPad と PingPong による簡易回答システム.pdf iPad とロイロノートでプレゼン作成.pdf Dropbox で iPad と PC 間のデータ共有.pdf 参加者が記入した付箋のスキャンデータ----- タブレット PC ゾーン付箋.pdf デジタルコンテンツゾーン付箋.pdf プロジェクタゾーン付箋.pdf iPad ゾーン付箋.pdf PDF グループ討議で参加者が記入したワークショートのスキャンデータ----- グループ討議ワークシート記入済.pdf

■ 情報関連講習会のご案内

9 月に実施される講習会

◆H26.09.17(水) Word 活用4(スタイルとテンプレートの機能)

段落の書式設定をスタイルとして登録し、素早く文書全体の書式を設定する手順、ページ設定やスタイルをひな形として保存しておき、効率よく文書を作成する手順を学習します。Word2010 で実施します。

【これを知らない人は受講する価値あり】

書式のコピー＆貼り付け、「標準」「見出し」などのスタイル、スタイルの登録、スタイルのレベル、目次の挿入、テンプレート

◆H26.09.26(金) Word 活用5(オートシェイプによる様々な図の作成)

オートシェイプの機能を使って、グラントデザイン、地図、算数・数学の図形などを効率よく作成する手順を学習します。Word2010 で実施しますが、Excel や PowerPoint でも同様に活用できる内容です。

【これを知らない人は受講する価値あり】

描画キャンバスの活用、図形の整列、図形のグループ化、図形の前後関係の設定、対象図形の作成、図形の形状の変更や回転、図形の塗りつぶし・線・影などの設定

◆H26.09.30(火) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その4

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡ください。

■ セキュリティ情報

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、8 月 13 日付で 8 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が 2 件、「重要」が 7 件です。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。

【研修会・事業の様子】

自然体験で心に栄養を！先生方自らが自然を楽しまなくちゃ子どもたちには語れない。

夏休み企画第一弾 宿泊野外研修「志賀高原」

◇8月3・4日（日・月） 講師 西山中学校校長 岸 勝巳 様

今年度はトレッキングファンにはたまらない志賀高原に行ってきました。1日目は温泉に入る野生の猿で有名な野猿公苑と、木戸池から蓮池までの自然堪能コースを散策し、2日目は健脚コースとゆったり観察コースの2グループに分かれ、焼額山を登山、東館山植物園を散策しました。講師の岸先生とともに今年は柏崎植物研究グループや上越科学技術教育研究会の先生方に参加していただき、多くの植物の名前や特徴を教えてくださいました。ゼンテイカや、ヤナギランのお花畑にうっとりし、ヒカリゴケを発見しては興奮した2日間でした。



平成26年度宿泊野外研修

平成26年8月3日～4日 志賀高原

この宿泊野外研修は教育センター科学班の目玉研修会です。この研修を楽しみにして、毎年参加してくださる方も多くいらっしゃいます。夏休みの気持ちにゆとりがある時に、多くの方に参加していただきたい研修会です。まだ、参加したことがない先生方はぜひお仲間を誘って来年度以降ご参加ください。一緒に自然体験を楽しみましょう。

参加者感想

「植物観察だけでなく動物観察もあり、地学の学習もあり、理科全般にわたる内容の濃い研修会でした。」

「毎年楽しみにしています。来年のこの研修地はどこか今から楽しみです」



夏休み企画第二弾 谷根川溪流ウオーク

（夢の森公園 自然体験プログラムを体験）

◇8月6日（水） 講師 夢の森公園 スタッフ 久松 信介様

サケの遡上で知られる谷根川の上流を歩き、川のせせらぎを聞きながら生活を支える水環境を考える機会として計画し、今年は好天の中実施することができました。

輝く水面に生い茂る緑、岩から染み出る自然のシャワー、忘れられない景色……。心に残る素晴らしい体験がこのプログラムで安全かつ安心して体験することができます。「柏崎にこんな神秘的な風景の場所があ



るのか」「滝の流れに逆らってロープを使い登りきる達成感を感じられた」、「ぜひ多くの子どもたちにも体験させたい」など、参加してくださった先生方が口々におっしゃいました。

夢の森公園のプログラムには学校の教育活動に生かせるたくさんの素晴らしいプログラムが用意されています。活用方法もさまざまで、丁寧に相談にものってくださいます。教育活動での楽しい利用を検討してください。

参加者感想

「自然の中に身をゆだね、とてもいい体験ができました。見えてくる自然について子どもたちと語る活動が出来たらしいなあと思いました。」

「五感を使って自然を学ぶことができました。中学でも総合学習などで取り入れられたら頭と体を使い、集中力を養い、適度な緊張感を味わえ感動を交えながら学べると思います。」



滝を登り、溪流で遊ぶ楽しさを満喫した参加者

夏休み企画第三弾 星空観察会

◇8月7日(木) 講師 山田 智 指導主事

町明かりから遠いため多くの星を観察できるセンター駐車場で天体観察を行う予定でしたが、天候不良のため実天観察は行えませんでした。しかし実天を観察できなくても、楽しい星空観察会をと山田指導主事のプロデュースで研修会を実施することができました。

宇宙の不思議やスケールの大きさを簡単な実験や体験を交えながら説明しました。今年度も、フルートとギターの生演奏つきのちょっと贅沢な研修となりました。

参加者感想

「来てよかったの一言です。身近なものを使って分かりやすく説明してください、果てしなく大きい宇宙が身近に感じられました。素敵な音楽も堪能でき、有意義な時間でした。」



宇宙の不思議さ 面白さを語る山田指導主事



特別ゲスト・ギター奏者の大行さんを迎えて、素敵な音楽のひと時

野外観察にでて、大地のつくりと変化を感じさせよう

◇7月28日(月) 地層観察会 講師 上越市立清里小学校校長 品田 やよい 様

柏崎刈羽地区の児童生徒が大地のつくりの学習で野外実習にでるならこの場所へ、ということで1日かけて野外実習が可能なポイントをまわりました。出雲崎町落水川河口・石地小学校前・椎谷海岸・西鯨波海岸・聖が鼻露頭・米山海岸等を観察しました。それぞれの場所では児童生徒にどんなことを伝えていくのかをイメージしたり、参加した先生方で話し合ったりしながら各地点をまわりました。

参加者感想

「柏崎には子どもたちをつれてきたい露頭がたくさんあることを知りました。もっと多くの方が参加してほしいと思いました。」



露頭を前にここでのポイントを語る品田やよい先生

一緒に理科を楽しもう！付けたい力を明確にしながら子どもたちの声をつなぐ・・・

◇ 8月8日（金） 小学校教員のためのいまさら聞けない理科の基礎技能研修

講師 荒浜小学校 油谷桂士 様・比角小学校 若林亮一 様・刈羽小学校 廣田万博 様

3人の先生方おひとりおひとりから理科の授業で大事にしていることを熱く語っていただき、その中から多くのことを学ぶことができる会となりました。その後、お話の中から印象に残ったことに重点を置きながら、夏休み明けの授業づくりを行いました。

以前、理科主任さん中心に各小学校からお寄せいただいた、[いまさら聞けない理科授業に対するご質問]は3人の先生からお答えいただき、近々スクールオフィスで理科主任の先生に送らせていただきます。



「実物を観察したい」と児童の気持ちをかきたてる導入の工夫を紹介する若林先生



「教師の演技で実験に目的意識を」と語る油谷先生



児童につけたい力を明確にもって授業に臨む大切さを語る廣田先生

参加者感想

「いまさら聞けないというよりは・・・もっと聞きたい！授業を考えてみたい！研修となりました。」

夏休みに取り組んだ成果を形にしたい児童生徒が集まりました！

『科学研究おうえんプロジェクト』

参考作品展

◆8/12～8/23 実施

◇会場 ソフィアセンター

○ 参考作品展

夏休み中の科学研究の一助として、ソフィアセンターで参考作品展を開催しました。標本作りに興味をもち、植物や昆虫などを追求め、自然に親しむ児童生徒の増加をねらい行っています。会場には植物・海藻・貝・昆虫の標本などを展示しました。また今年度は昨年度の科学作品展で優秀な成績をおさめた児童生徒の作品も展示しました。夏休みということもあり、多くの方が来場しました。

夏休み明け、子どもたちの科学研究の成果が楽しみです。

○ 名前調べ会（標本作製相談会）

◇講師 植物…相澤陽一 様 河合三喜雄 様 阿部文夫 様 藤田進 様

昆虫…細山剛宏 様

貝…佐藤俊男 様

「参考作品展」の最終日に、毎年恒例の名前調べ会をソフィアセンターで開催しました。児童生徒が夏休み中に作製した生物標本の名前を調べたり、確認したりする会です。今年は下調べをしたうえで相談に来る児童生徒が多く、前向きな取り組みを感じました。また、中学校では学校の部活動、理科の宿題等



で標本作りに積極的に取り組むよう働きかけていただいたようです。

当センターにおいても4月末より科学研究おうえんプロジェクトを計画し、多くの児童生徒、保護者の方に科学作品づくりの啓発を行ってきました。標本を夏休みだけで仕上げることはなかなか難しいことです。早めに取りかかり、来年度もたくさんの皆さんに参加していただきたいと思います。またぜひ先生方からもご来場いただき、標本作りの指導の一助になればと思います。

【9月の研修会のご案内】

申し込みは今からでも可能です！

○ 中1「身のまわりの現象（光・音）デジタル教科書の活用を含む」

◇日 時 9月17日（水）

◇内 容 生徒がつまずきやすい点を明確にし視覚・聴覚を意識して、体験を伴った指導を紹介します。また、南中学校石原 明教諭、東中学校金井 勇輝教諭からも効果的な指導法やアイデアを紹介してもらいます。

○ 上越地区合同野外研修会（共催 上越地区理科教育センター連絡協議会）

◇日 時 9月20日（土）

◇内 容 糸魚川・青海方面の地質の研修です。詳細はメールで各学校に送付しました。

児童生徒科学作品展・科学研究発表会について

夏休み明けで多忙な時期とは思いますが、より多くの児童生徒が出品・発表ができますように、計画的なご準備をお願いします。

第49回柏崎刈羽地区児童生徒科学作品展＜9月13～24日＞

申し込み締め切り・・・9月5日（月）

申込書に必要事項を記入し、メールで教育センター科学まで（kagaku@kenet.ed.jp）

作品搬入・・・・・・・・・・9月10日（水）9：00～16：00

11日（木）9：00～12：00（厳守）

作品搬入時に、部門ごとに申込書に職印を押印したものを持参する。

作品には作品添付票、レポートをつける。 ☆搬入場所は市立博物館・特別展示室です。

第49回柏崎刈羽地区児童生徒科学研究発表会＜10月8日＞

①申込書(Excel ファイル)・・・申込書に必要事項を記入し、メールで教育センター科学まで
(kagaku@kenet.ed.jp)

②申込書（①を印刷し、職印を押したもの）

③研究概要・・・A4版表裏印刷1～2枚 150部印刷(製本はしない)

①は9月25日(木) 必着です。②③は10月1日(水) 必着です。㍻切厳守でお願いします。

☆PCを使って発表する場合、データをCD-Rに保存し、教育センターへ10月3日(金)までに提出してください。

※デジタルデータは、ウイルスチェックを必ず行うようお願いします。

パワーポイントを使用する場合はPowerPoint2013以前で保存してください。

心の窓

No.180

〒945-1355

柏崎市大字軽井川4803-2

TEL 0257(23)4591(代表)

FAX 0257(23)4610

E-mail soudan@kenet.ed.jp

☆☆☆ふれあいルームより☆☆☆

《7月15日 バス課外活動》

戸隠の『チビッ子忍者村』へのバス課外活動を実施しました。

天候にも恵まれ、時間を忘れアスレチックを楽しく回り、汗を流しました。体力が余っていて2度も挑戦する子もいました。

『からくり屋敷』では、通路をどう進んでいいかわからないような

からくりになっていて、みんなで暗闇の中を、手探りで進みました。広い部屋についた途端、部屋が斜めになっていてとても違和感がありました。ボールが上に向かって進んだり、階段が登れなかったり、まっすぐ立っているつもりが倒れそうになったりと・・・。

恐る恐る進む子、どんどん進む子と様々でしたが、互いに声を掛けあう姿が見られました。いろいろな体験を通してかかわりが生まれました。家族へのおみやげも買うことができ、とても充実した楽しい一日となりました。

(ふれあいルーム指導員 神林治男)



教育相談班 9月の予定

《ふれあいルーム》

- 2日(火) ソフィアセンター
- 8日(月)～9日(火) 妙高宿泊体験
- 18日(木) 博物館見学
- 30日(火)～10/2日(木) 三者面談

《カウンセリングルーム》

- ※いろいろ体験グループ(SST)保護者会
- 5日(金) 15:00～16:30 小学生A・Bグループ
- 12日(金) 15:00～16:30 小学生Cグループ
- 18日(木) 15:00～16:30 中学生①グループ
- 19日(金) 15:00～16:30 中学生②グループ

育成センター通信	0848	柏崎市青少年育成センター 〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2 TEL0257-20-7601 FAX0257-23-4610 ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp
-----------------	-------------	--

9・10月の予定

日	曜	こ と が ら	日	曜	こ と が ら
9月1	月	下校育成活動 (7班)	10月6	月	下校育成活動 (2班)
2	火	早朝育成活動 (8班)	7	火	下校育成活動 (7班)
3	水	下校育成活動 (4班)	11	土	小学校PTA育成活動③(5・8・13班)
4	木	下校育成活動 (2班)	20	月	昼間育成活動 (3・4班)
5	金	下校育成活動 (5班)	31	金	夜間育成 (10・11班)
12	金	夜間育成活動 (12・13班)	秋の地区育成活動 = 中学校区ごとに実施		
13	土	小学校PTA育成活動①(6・7・10班)			
16	火	昼間育成活動 (1班)			
27	土	小学校PTA育成活動②(3・9・11班)			

青少年の非行・被害防止全国強調月間啓発活動



7月の全国強調月間に合わせ、7月5日(土) 市内2カ所で、チラシを配布しながら青少年の非行・被害防止等の啓発活動を行いました。



7・8月の育成活動から

夏休み 連れ立って海やプールにやってきた子どもたちの自転車にカギがかかっていません。

「いつでもロック!どこでもロック!だよ」と声をかました。



スマホ 家庭でのルールづくりと夜間使用制限

今春、小中学生のスマートフォン（高機能携帯電話）や携帯電話の夜間使用を制限する試みが全国的に始まっていると報じられた。

最初に取り上げられた刈谷市の事情を調べてみると、規制や制限という趣旨ではなく、児童生徒、保護者に携帯についての問題を認識してもらい、少しでも各家庭で改善できればという趣旨の啓発事業であるとしている。

行政が安易に規制という手段を用いるべきでないことは、周知のとおりであり、スマホ問題も市民から声が上がれば市民運動として展開されることが理想的ではある。当市において、そのような土壌が育まれるよう情報提供に努めていきたい。

スマホの夜間使用制限が取りざたされる背景には、無料通信ソフト LINE（ライン）などを使ったトラブルや生活習慣の乱れが心配されるからだ。LINE のメッセージのやり取りは既読がつくため当事者同士で関係をこじらせやすい。少なからぬ児童生徒が「既読」や「無視」に悩まされている。LINE を使ってなされる「いじめ」は学校現場では把握できないし、子どもの通信内容を承知している保護者も少ない。いや視けない。そもそも今の親はゲーム・スマホ熱中世代であり、高機能危機に疎い親から利用のルール指導を受けたことのない世代である。野放図状態かもしれない。

青少年のスマホでのネット利用時間は、1日107分という内閣府調査がある。LINE の登場によりスマホ利用時間はさらに増えている。スマホ中毒にまでいかなくとも生活習慣の乱れは心配である。

スマホ制限の前に危険性について、保護者と子どもたちに知ってもらう努力が必要だとする意見がある。市教育センターでは、昨年度、児童生徒、PTA を対象とした情報モラルに関する啓発や講演を28回実施し、2,680人が参加した。参加した保護者からもっと早く話を聞いていれば良かったという声がよく聞かれるという。T 講師の話では、児童生徒とその保護者を対象としたのでは、実は遅すぎるという。いまや5歳児の憧れはスマホなのだそうだ。

6月に行われた「東京おもちゃショー」のニュースを見ていると、スマホ型玩具の進化に目を奪われてしまう。おもちゃの枠を遥かに超えている。女子小学生向けタブレット型や本物のスマホと通信できるスマホ型おもちゃ、とにかく多機能で本物の疑似体験ができる。子どもたちは、これらの高機能のおもちゃを難なく使いこなすのであろう。頼もしい限りである。情報化社会を生き抜くことが求められる子どもたちには必要なツールなのだ。

しかし、これらに潜む危険性を保護者は知り、子どもたちとしっかりと話し合わねばならない。

ある家庭で子どもとのルール作りに成功しても、野放図の家庭の子どもたちから夜中に LINE がひっきりなしに来るようでは、「うちは夜にスマホを使わないルールになっている」とは言えたものではない。子どもたちにとって、孤立ほど恐ろしいものはない。地域全体で取り組む必要がある。（布施）

<参考>

LINE メッセージで親に通報、いじめ防ぎ見守りサービス

ITベンチャー企業「エースチャイルド」は、子どもが受信した LINE メッセージに、「死ね」「うざい」などの、いじめにつながるキーワードがあれば親に通知するサービスを始めた。

- ①保護者が交流サイト見守りサービス Fili（フィリー）に登録
- ②子どもが SNS やスマートフォンのデータへのアクセスを許可
- ③親子でいつでも状況確認

（当面無料提供・対応するのはアンドロイドのスマホだけ）

9月の行事予定表		
日	曜	研修・行事・会議
1	月	育:下校育成
2	火	相:上越教育大学院視察実習(10:00~12:00) ふ:ソフィアセンター(10:00~11:30) 育:早朝育成
3	水	
4	木	育:下校育成
5	金	相:SST保護者会小Aグループ15:00- 育:下校育成
6	土	
7	日	
8	月	研:小学校外国語活動授業公開(北条小)13:55- 相:班会議13:00-
9	火	ふ:妙高宿泊体験9:00発
10	水	ふ:妙高宿泊体験15:30着
11	木	研:国語師範授業(半田小)14:00-
12	金	科:第49回柏崎刈羽地区児童生徒科学作品展審査会 (博物館) 育:夜間育成 相:SST保護者会小Bグループ15:00-
13	土	科:第49回柏崎刈羽地区児童生徒科学作品展 (~24日まで:博物館) 育:小PTA育成
14	日	
15	月	敬老の日
16	火	育:昼間育成
17	水	研:CAN-DOリストを生かした指導案づくり 科:中1「身の回りの現象」15:00- 情:Word活用4
18	木	研:中学校社会デジタル教科書の使い方 ふ:柏崎市立博物館見学(9:30~11:30)
19	金	研:中学校国語デジタル教科書の使い方 研:発達の特徴がある子どもへの指導・支援③ 相:SST保護者会小Cグループ15:00-
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	秋分の日
24	水	研:教師のためのマナー講座
25	木	相:SST保護者会中グループ15:00-
26	金	研:学校支援地域本部事業コーディネーター・担当者等 研修会(アルフォーレ)14:30- 研:学校事務研修(センター 多目/第三中)14:00- 情:Word活用5 科:第49回柏崎刈 羽地区児童生徒科学作品展表彰式16:00- (博物館) 相:SST保護者会中グループ15:00-
27	土	育:小PTA育成
28	日	
29	月	相:班会議13:00-
30	火	情:フリーQ&A ふ:三者面談(~10/2)
研:教育研究班 科:科学技術教育 相:教育相談班		
ふ:ふれあいルーム 情:情報教育研修 育:育成センター		



所 員 随 想

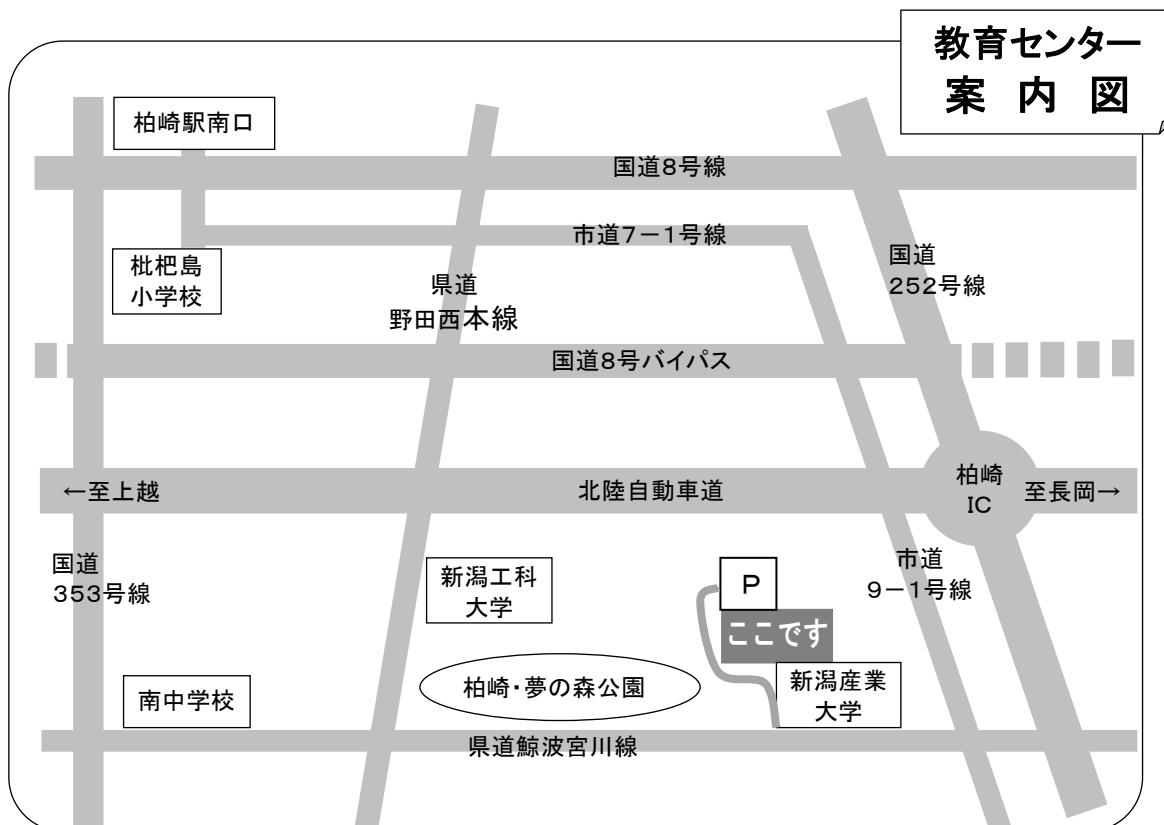
心もつられてハイブリッド

情報教育主事 田村 実

10年以上乗った家族の車が故障し、急きょ新車を購入することに。世間はエコカーブームの様ですが、値段も結構違うのでガソリン車にするつもりでした。ところが両方試乗してしまったのが運の尽き・・・圧倒的にハイブリッドの方が楽しい。パワーもあるし、防音などの作りも違い、別の車かと思うほど。ははーん、こうしてみんな高い方を選んでしまうんだな。試乗の罠にまんまとはまる。

新しい車を運転していると、今はモーター走行、今度はエンジン走行、アクセルを離したりブレーキを踏んだりすればエネルギーを回生中・・・など、逐一状況が表示されるので、おのずと心もエコモードになってしまう。不思議なことに、前の車が遅くても「これは燃費が伸びるな」なんて考えたりして、イライラすることがずいぶん減っていることに気付く。高速走行や上り坂では、ほぼエンジン走行なので燃費は伸びないが、加速したいときにはモーターのアシストが入る場合もあり、やっぱり楽しい。時々運転する息子も同じようなことを言うのだが、「エコ」なのに「楽しい」ではないか。なんだか心までハイブリッドになったようである。





〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

イタリアの天文学者ガリレオ・カリレイのたゆまぬ創造と検証の精神にちなみ、教育センター所報を「GALILEI」と名づけています。

インターネット版は、「柏崎市教育情報支援システム」を検索し、トップ画面右上の所報「GALILEI」をクリックすると閲覧できます。

教育センター代表TEL：0257-23-4591

代表FAX：0257-23-4610

E-mail：k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育研究班・情報教育TEL：0257-23-1168

E-mail：kec@kenet.ed.jp

教育研究班（科学技術教育）TEL：0257-20-0212

E-mail：kagaku@kenet.ed.jp

教育相談班（カウンセリングルーム）TEL：0257-32-3397

E-mail：soudan@kenet.ed.jp

教育相談班（電話相談）TEL：0257-22-4115

青少年育成センターTEL：0257-20-7601

E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育情報支援システム URL：http://kedu.kenet.ed.jp

平成26年8月発

=====